

# 歯と口・食の学習を通して すすんで健康づくりに取り組む城原っ子の育成

～命の大切さを考えたり、

自分の体を見つめたりできる学習活動の工夫～

大分県竹田市立城原小学校

本校では、体験的な活動を取り入れ、自分の生活習慣を振り返り、自分自身の体や命の大切さをすすんで考えていくことのできる子どもを育てていきたいと考えています。また、歯と口・食の学習の中で、家庭や地域・関係機関と連携しながら、自分の体を見つめ、自分の成長を見つめ直すことを通して、健康づくりにすすんで取り組む子どもを育てていきたいと考え、研究に取り組んでいます。

## ○ 研究内容（実践内容）

### ① 学習実践（授業実践例：「全学級取り組む研究授業」）

題材名 栄養バランスを考えて

目 標 野菜のはたらきを知り、バランスよく食べることの大切さを理解するとともに、自分の食生活をよりよくしようとする態度を育てる。

学校栄養士さんと一緒にしっかりと考え、野菜を仲間分けしています。

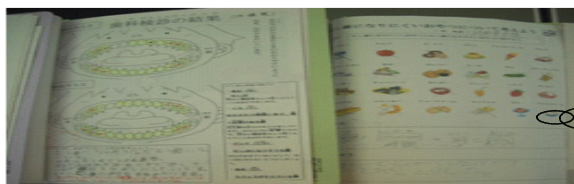
どんな時にも歯をみがきます。そして、すぐに記録していきます。



### ② 日常的な支援・評価（実践例：「歯みがきカレンダー」）



### ③ 家庭との連携（実践例：「かがやきファイル」）



自分の口の中の変化や活動記録などを綴じます。「かがやきファイル」が家庭と学校を行ったり来たりします。

## ○ 成果と課題

- ・ 体験的な活動を行うことにより、子どもたちに新たな発見や気づき、疑問が生まれ、主体的に授業に取り組むことができつつあります。
- ・ 継続して取り組むことにより、歯みがき等がさらに定着してきています。
- ・ 『かがやきファイル』を活用することにより、家庭でも歯みがきの声かけをしたり、生活習慣を意識するようになってきています。

※今後も、

# すすんで健康づくりに取り組む城原っ子の育成

に取り組んでいきます。